



Kanazawa Noh Museum  
**COLLECTION**  
**2023**

企画展 金沢能楽美術館  
コレクション 2023

2023 **12.9** 土 **2024 3.10** 日

Kanazawa Noh Museum  
**金沢能楽美術館**

開館時間／午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日／毎週月曜日(休日の場合はその次の平日)、年末年始12月29日(金)～1月3日(水)

料金／一般・大学生 310円、65歳以上 210円、高校生以下 無料、団体(20名様以上) 260円

主催／金沢能楽美術館〔(公財)金沢芸術創造財団〕

後援／北國新聞社・NHK金沢放送局・MRO北陸放送・テレビ金沢・金沢ケーブル・  
エフエム石川・ラジオかなざわ・ラジオこまつ・ラジオなお

〒920-0962 金沢市広坂1-2-25 TEL(076)220-2790 FAX(076)220-2791

<https://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp>

アクセス／金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルより乗車、「広坂・21世紀美術館」または「香林坊(アトリオ前)」下車。

面能 泥眼 江戸時代・18世紀 尾山神社／能装束 白地霞取鱗形文様金摺箔 近代・19世紀／能装束 紅地雲菱に龍丸文舞衣  
明治時代・19～20世紀／面能 悪尉 桃山時代・16世紀／能装束 茶地六芒星繫ぎ文様金欄半切 江戸時代・19世紀 金沢能楽美術館

# Kanazawa Noh Museum COLLECTION 2023

企画展 金沢能楽美術館  
コレクション 2023



能面 真蛇  
室町時代・16世紀  
金沢能楽美術館



能面 小尉「天下第一」印  
江戸時代・17世紀  
金沢能楽美術館

お正月  
特別イベント

## 新春狂言と御松囃子

1月6日(土)13:30~(12:30開場)

予約不要 / 先着100名

料 金 / 無料(ただし要観覧料)

会 場 / 金沢能楽美術館 3階

### ◆新春狂言

「呼声」太郎冠者 能村 晶人 主 炭 光太郎

### ◆御松囃子

|              |           |
|--------------|-----------|
| 「四海波」佐野由於    | ワ キ 平木豊男  |
| 舞囃子「高 砂」高橋右任 | 大 鼓 飯嶋六之佐 |
| 「松高き」島村明宏    | 小 鼓 住駒俊介  |
| 仕 舞「八 島」渡邊茂人 | 太 鼓 麦谷暁夫  |
| 仕 舞「東 北」藪 克徳 | 笛 室石和夫    |
| 仕 舞「巻 絹」佐野弘宜 |           |
| 舞囃子「猩 々」広島克栄 |           |

### しゃうたい 写謡の会

要予約

静かな時の中、美しい能の謡を書き写し、心身を浄化させてみませんか。当日午後には催される定例能(於石川県立能楽堂)について、能楽師による解説の後、謡本の流麗な文字をなぞります。

| 日程      | 曲目     | 講師(シテ方宝生流) |
|---------|--------|------------|
| 1月7日(日) | 翁・西玉母  | 佐野 弘宜      |
| 2月4日(日) | 志賀・田村  | 藪 克徳       |
| 3月3日(日) | 巻絹・誓願寺 | 佐野 玄宜      |

時 間 / 10:15~約1時間 持ち物 / 筆ペン(または筆・墨・すずり)

参加料 / 1回500円+観覧料 会 場 / 金沢能楽美術館 3階

江戸時代、加賀百万石の大名前田家のもと高度な武家文化が花開いた金沢。なかでも能楽は茶とともに武士の嗜みとして手厚く保護育成され、のちに「加賀宝生」と称されるほど広く浸透しました。明治維新による幕藩体制の終焉は一時の衰退をもたらしましたが、加賀宝生中興の祖・佐野吉之助をはじめとする能楽愛好者らの尽力により、「謡が降る街、金沢」の伝統が受け継がれました。当館は加賀宝生に伝わった能道具をコレクションの母体とし、以来、能楽に関する貴重な資料の収集・保存・展示を重ねています。

このたびは新年の干支である〈龍〉をテーマに、能に登場する龍王や龍女を能面や能装束とともにご紹介します。役柄のエッセンスを凝縮させた究極の造形美を示す能面や、染織技術の粋を極めた絢爛豪華な能装束など、日本が誇る能楽文化の美意識を感じていただければ幸いです。

※能面・能装束の着装体験に関する開催日程等の詳細はHPをご確認ください。



能装束 白茶萌葱茶段雷文鱗に龍丸雲文厚板  
江戸時代・18~19世紀  
金沢能楽美術館



髷帯  
江戸~明治時代・19世紀  
金沢能楽美術館

## 〈冬の観能の夕べ〉プレ講座

要予約

石川県立能楽堂の「冬の観能の夕べ」各演目について、見どころや物語の背景などを、金沢能楽会の能楽師がわかりやすく解説します。

※5回分を2回に分けて解説します。演目・出演者等の詳細は石川県立能楽堂・金沢能楽会HPをご参照ください。

第1回 1月27日(土)10:30~11:30 講師 高橋 憲正(シテ方宝生流)

第2回 2月10日(土)10:30~11:30 講師 木谷 哲也(シテ方宝生流)

会 場 / 金沢能楽美術館 3階

定 員 / 50名

要予約 / 076-220-2790

料 金 / 無料(ただし要観覧料)

## Kanazawa Noh Museum 金沢能楽美術館

〒920-0962 金沢市広坂1-2-25  
TEL (076)220-2790  
FAX (076)220-2791  
<https://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp>

アクセス 金沢駅兼六園口(東口)バス  
ターミナルより乗車、「広坂・21世紀美術館」または「香林坊(アトリオ前)」下車。

<https://www.facebook.com/kanazawa.noh.museum/>

金沢能楽美術館 検索

